

## 麦後栽培に適した飼料用米の品種選定および導入効果について

### 要約

飼料用米多収性品種「ホシアオバ」、「クサホナミ」は、収量・所得の向上は認められるが、二毛作体系では成熟期が遅く、後作に影響することから注意が必要。

### ○ 展示のねらい

飼料用米普及拡大のためには、二毛作体系での作付も検討する必要がある。そのため、単収644kg/10aを実現する麦跡に適した飼料用米品種の選定並びに、栽培技術の確立が必要である。

表1 処理内容

	供試品種	施肥
試験区	ホシアオバ	緩効性肥料
	クサホナミ	基肥+追肥区
対照区	あさひの夢	緩効性肥料

表2 肥料の種類と成分量

	肥料の種類	総窒素量 (kg/10a)	基肥窒素成分量 (kg/10a)	追肥窒素成分量 (kg/10a)
緩効性肥料区	グレートアップ575	12.0	4.8	(7.2)
基肥+追肥区	ホル14+硫安	10.2	7.0	3.2

注:( )は緩効性成分

### ○ 主な成果

表3 出穂・成熟期並びに収量調査結果

		出穂期	成熟期	籾重 kg/10a	玄米重 kg/10a	総籾数 千粒/m <sup>2</sup>	平均1穂粒数 粒	玄米千粒重 g
緩効性	ホシアオバ	9月4日	10月27日	567	397	30.44	122	25.9
肥料区	クサホナミ	9月11日	11月5日	648	512	42.20	162	21.8
	あさひの夢	8月31日	10月12日	700	530	43.06	98	21.3
基肥+	ホシアオバ	9月4日	10月27日	701	552	27.29	126	26.9
追肥区	クサホナミ	9月10日	11月5日	762	590	38.07	163	21.5

注 クサホナミの成熟期は推定

表4 経営試算(10a当たり)

用途	品 種	収入(千円)		支出(千円)			所得 (千円)	所得差 (千円)
		生産物売上	交付金	資材費	乾燥調整費	その他経費		
飼料用米	クサホナミ	7.1	113.3	6.3	12.1	44.0	58.0	+26.4
〃	あさひの夢	6.4	91.3	10.7	11.4	44.0	31.6	
(参考)主食用米	あさひの夢	69.3	7.5	10.7	4.1	44.0	18.0	-13.6

「ホシアオバ」・「クサホナミ」とも成熟期が遅く、後作に影響すると考える。

玄米重は、基肥+追肥区では、「ホシアオバ」で対照区比104%、「クサホナミ」で111%と多収になり、飼料用米として販売したときの経営試算では、「あさひの夢」より「クサホナミ」の方が、約2万6千円所得が向上した。

### ○ 今後の方向性

飼料用米専用の早生品種導入を検討する。

実施機関：安足農業振興事務所経営普及部 実施場所：佐野市

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315